



里親だより

vol. 48

令和元年（2019年）6月20日発行
長野県中央児童相談所広域支援センター
里親だより編集委員会

1 子どもの権利を基礎とした社会的養育の推進

県民文化部 こども・家庭課 児童相談・養育支援室

室長 樋口 忠幸

虐待を受けた子どもや、何らかの事情により実の親が育てられない子どもを含め、全ての子どもの育ちを保障する観点から、平成28年児童福祉法改正では、子どもが権利の主体であることを明確にし、家庭への養育支援から代替養育までの社会的養育の充実とともに、家庭養育優先の理念を規定し、実親による養育が困難であれば、特別養子縁組による永続的解決（パーマネンシー保障）や里親による養育を推進することを明確にしました。

この背景には、全ての子どもは適切な養育を受け、健やかな成長・発達や自立が図られること等を保障される権利を有しているという基本理念があります。この権利を実現するため、子どもの養育は安全で安心して暮らすことができる家庭的な環境の中で、親を中心とする特定の大人との愛着関係の形成を基本とし、年齢に応じて子どもの自己決定を尊重しつつ、子どもの状態に配慮しながら自立を支援していくものでなければなりません。子どもは、このような養育を受けることによって、生きていくために必要な意欲や良き人間関係を築くための社会性を獲得し、社会の一員として責任と自覚を持ち、また、親をはじめとする頼ることのできる人の存在を通して、適切な自己イメージとともに生きるための自信を得ていくものという認識が基本です。

また、子どもの養育については、地域社会や家族関係の変化の中で、市町村において子どもと家庭の個別的ニーズを把握し、それに応じた適切な支援を構築するソーシャルワーク体制（子ども家庭総合支援拠点）の構築を図り、地域社会が家庭の機能を補いながら、協働して子どもの養育を支え保護していくとともに、家庭の支援を行っていくことが必要になっています。

本県におきましては、このような社会的養育を推進するため、既存の「長野県家庭的養護推進計画」を全面的に見直し、2019年度末までに「長野県社会的養育推進計画」を策定する予定です。計画の策定にあたっては、当事者である子どもたちをはじめ、里親さんや児童福祉施設、各種支援機関・団体等の皆様から幅広くご意見を幅広くお聴きしたいと考えておりますので、皆さまのご理解とご協力をお願いします。児童相談・養育支援室は、子どもがどんな環境に生まれても全ての子どもの最善の利益が守られ、子どもたちが夢や希望をもって自分らしく心豊かに生きて行ける長野県づくりを進めていきたいと考えております。



2 研修会の報告



「里親養育の実践例から学びあう会」を受講して

飯田児童相談所管内里親会 林 弘道

私は、現在飯田児童相談所管内で、夫婦で高齢養育里親として奮闘中です（笑）

1人目の里子ちゃん（女子）が4年半で措置解除となり、お母さんの元へ戻り、昨年12月から2人目の里子のA君（男子）が我が家の一員となって1年が経ちました。孫のような歳のA君が我が家のセンターポジションを確保して、日々ドタバタといろいろな問題を提供しながら元気に過ごしております。

平成31年1月28日の午後から伊那市防災コミュニティセンターで「里親養育の実践例から学びあう会」に参加しました。里親さん方それぞれの立場からの思い、体験談は何年も里親をしておりますが、とても新鮮な気持ちで聞き入りました。

- ① 実親と里親との交流、実親も含めたサポートの在り方
- ② 特別養子縁組ならではの生活の変化、喜び
- ③ ファミリーホームの実際、問題点 等

3人の里親さんのどの体験談も養育里親で里子と関わってはきましたが、抱えている問題がみな違い、それぞれのお話を我が事として、「自分ならどう対処するだろうか」と考えさせられる機会となりました。

今、連日のように児童虐待の問題がテレビで大きく取り上げられ、近隣、児童相談所、学校、警察の連携が問題視されています。効果的なネットワークを維持するには役割と限界の認識が重要です。お互いの責任、役割と限界をわかっておく必要があるとの講演を聞いたことがありましたが、まさにその通りだと思いました。

「社会全体で子どもを育てる」という認識がまだまだ浸透していない現状の中、里親の養育スキル向上のため、今回のように里親会の地区を超えて里親相互の連帯を深め、養育の相談や情報交換をし、里親が孤立しないように絆を深めていく機会を増やしていけたら良いと思います。

— 社会のひずみの中で苦しむ子供たちのために —



3 中信地区里親会の紹介



中信地区里親会長 牟禮 孝貴

中信地区里親会は松本児童相談所管内の登録里親のうち入会希望があった29家庭で構成されています。里親会の活動で最も大切なことは、里親同士、顔が見える関係を作り、子育てについて共に学び、喜び、時には共に悩み、支え合うことだと思っています。他の里親の養育経験、体験談やアドバイスが参考になったり、ただ愚痴を聞いてもらうだけで楽になったり、時には絵本や洋服の融通もあったりします。

里親仲間を増やすため、年2、3回里親促進事業（里親相談会）を開催しています。新聞や市町村の広報を活用し、里親に関心がある方を募ります。会場では里親制度の説明、書籍・パネル展示、ビデオ上映等を行い。里親会員からは養育経験（実際に子どもを預かったときの様子、注意したこと、こんな支援が受けられたことなど）をお話ししています。午後からは、同じ会場で里親サロンも行っています。

児童養護施設では毎年蕎麦打ち交流を続けています。里親と子どもたちが協力しながら蕎麦やうどんを打ちます。昼食では自分で作った太めの蕎麦やうどんを食べられるのも楽しいようです。施設の職員の方とも顔見知りになることで、養育相談等も気軽にできるようになることもメリットだと思います。

里親研修会は、総会に合わせて開催しています。これまでに養育事例研究や里親制度の改正、発達障害などについて研修を行いました。長野県里親大会や関プロ研修会等の開催案内も提供しています。

上部団体である全国里親会の「里親だより」、長野県里親会連合会からの情報も会員へ提供していきます。長野県里親会連合会では、県の補助を受けて里親責任賠償保険の事務も行っていますので、里親会に未加入の里親さんも入会をお願いします。

児童虐待が社会問題となり、今後は里親への一時保護委託も増え、また、実親の「養育の孤立」の解決が求められるなか、実親への支援も行うなど里親としての活動内容も変化していくと思われます。

里親会として児童相談所、里親支援専門相談員等とも連携を図りながら、子どもの健やかな成長を願って活動していきたいと考えています。



4 里親支援専門相談員の紹介



里親支援専門相談員になって

善光寺大本願乳児院 上石 雅代

初めまして。4月から善光寺大本願乳児院で里親支援専門相談員を、勤めさせていただくことになりました上石雅代と申します。昨年度まで、中央児童相談所で児童福祉司として、微力ながら相談支援の仕事に就いておりました。

4月5月と広域支援センターの皆様や先輩の里親支援専門相談員の皆様のサポートを受けながら、いろいろ経験してみると里親支援業務の深さ、大切さを日々感じるとともに、自分の至らなさを痛感し自信も薄れてきました。そんな時に里親総会や里親サロン等で里親の皆様方のお話を拝聴させていただき、里親の皆様方が日々、悩み、考え、苦しみ、されど諦めず忍耐強く里子さんや社会と向き合っている姿に本当に感動し、自然と「里親さんに沢山教えていただきながら、一緒に考えさせていただきたい」という気持ちが湧いてきました。この気持ちをいつまでも忘れずにいたいと思っています。

また、乳児院では日々天使のような子どもたちに囲まれ、「ニコニコしてもらえれば、10歳若返ったような気持ちになり」「よちよちと5歩6歩と歩く姿を見ては元気をもらい」「赤ちゃんを抱っこするだけで、優しい気持ちになり」と癒されながら今までより性格も良くなってきているように感じます。子どもたちには感謝！感謝！感謝！です。この感謝の気持ちを支援につなげていきたいと強く願っております。（性格まで改善してもらっているのですから・・・）
このように本当に未熟な私ですが皆様どうぞよろしく願いいたします。



里親支援専門相談員の川久保です！

飯山学園 川久保 恵

4月から里親支援専門相談員を務めさせていただいています。昨年度は里親フォーラムに参加させていただきました。里親フォーラムのチラシ・ポスター配りのお手伝いをさせていただき地域の方々と交流をし皆さんの温かみを感じました。私にとって良い経験となりました。

さて、私が里親支援専門相談員になって関係機関の方々や里親さんと話をする機会が増えました。里親さんと話をする中で返答に困ってしまい不安な思いにさせてしまった事もありました。趣味の話をして大笑いした事、子育てについて共感出来た事。この2ヵ月でも沢山の経験をさせていただいています。最近では里親さん宅を訪問させていただき里親さんと話しをしたり子どもと交流をしました。子育てについて共感し一緒に悩んだり笑ったり、そんな日々を大切にしています。

恥ずかしい話、私は4Sという言葉は初めて聞いた時、それって何？というところから入りました。知らないの？と思われる事が怖くて誰にも聞けず…。里親支援専門相談員と知り納得。そんな私が4Sの仲間入りをさせていただきました。まだまだ未熟者ではありますが皆様と交流を深め経験積み重ね成長をしていきたいと思っています。

今、里親支援専門相談員として出来る事は何か？しっかり見極めて対応していきたいと思えます。飯山学園の里親支援専門相談員、川久保恵をどうぞよろしく願いいたします。

5 里親サロン・更新研修・おしらせ

◎ 里親サロン情報

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
中央	6日 (上田) 20日 (中央)	8日 (千曲)	22日 (中央)	9日 (千曲)	17日 (中央)	18日 (千曲)	5日 (上田) 19日 (中央)	20日 (千曲)	20日 (中央)	9日 (千曲)
佐久	6/23 第1回目～年4回を予定									
松本	27日	25日	22日	26日	24日	28日	26日	23日	27日	12日
諏訪	年3回～4回を予定									
飯田	23日 (高森)	22日 (飯田 児相)			19日 (かざこ し公園)	25日 (風越乳 児院)		27日 (慈恵 園)	22日 (高森)	23日 (飯田 児相)

※ サロンの場所、時間、持ち物は管内児相の担当者に確認してください。

※ 管外児相のサロンに参加することも可能です。

〈連絡先〉

中央児相管内：☎ 026-238-8010 担当：柳田
 佐久児相管内：☎ 0267-67-3437 担当：加藤
 松本児相管内：☎ 0263-91-3370 担当：山口・平井
 諏訪児相管内：☎ 0266-52-0056 担当：牛澤・片倉
 飯田児相管内：☎ 0265-25-8300 担当：春日・小林

◎ 里親更新研修情報

*第1回は終了しています。

第2回	9月18日(水)	10時00分から16時00分	安曇野市明科公民館
第3回	11月8日(金)	10時00分から16時00分	伊那市防災コミュニティセンター

※ ホームページにも掲載してあります。

◎ホストファミリーを募集しています！短期間、子どもと過ごしてみませんか？

☆ホストファミリーとは…

いろいろな事情で親と一緒に生活できず、児童養護施設に入所しているお子さんを、盆、正月、週末等自分の家庭に迎え入れていただける方のことです。様々な生活体験を通じて、お子さんたちは、家族的な絆を深め、社会性が育まれます。受入れをお願いする期間は1泊2日から1週間程度です。

☆申込みは児童養護施設へ

ホストファミリーを希望される方は、児童養護施設に直接申込みをしてください。担当職員が家庭訪問しお話を伺います。お子さんを迎え入れていただく前に、施設内で、お子さんと十分コミュニケーションを図って、お子さんが安心して、外泊ができる準備をします。

6 里親と児童福祉施設のパートナーシップ(2019年度)

県内の児童福祉施設には、里親さんにも参加していただける行事や、ボランティア活動があります。

詳しくは各児童福祉施設の担当者にお電話で確認いただき、ご参加ください。

種別	施設名	所在地	担当	連絡先
児童養護施設	飯山学園	飯山市飯山 3180	川久保 恵	0269-62-2339
	三帰寮	長野市屋島 2373	荒井 俊樹	026-244-8355
	恵愛	千曲市稲荷山 3842-1	松崎 篤	026-214-1315
	松代福祉寮	長野市松代町東条字腰巻 108-2	玉井 秀樹	026-278-2556
	円福寺愛育園	長野市篠ノ井横田 798-1	石黒 玄章	026-292-5022
	原峠保養園	上田市御所 38	永井 富枝	0268-22-1195
	軽井沢学園 地域里親家庭サポート センタースミール	北佐久郡軽井沢町追分 1422	金子 悠一郎	0267-45-1081
	松本児童園	松本市島内 1666-880	一柳 明美	0263-47-0590
	木曾ねざめ学園	木曾郡上松町荻原 1255	村上 弘一	0264-52-2313
	つつじが丘学園	岡谷市川岸上 4-12-51	川瀬 勝敏	0266-22-2574
	たかすやの里	伊那市東春近 7000-8	石川 結也	0265-72-6456
	慈恵園	下伊那郡豊丘村神稲 4461-1	堀 恵梨子	0265-35-4815
	風越寮	飯田市丸山町 4-7537-10	矢澤 淳司	0265-22-1489
	おさひめチャイルド キャンプ	飯田市仲ノ町 305-6	今井 功治	0265-22-3875
乳児院	善光寺大本願乳児院	長野市箱清水 3-19-2	上石 雅代	026-232-2292
	うえだみなみ乳児院 上田原事務所	上田市上田原 1050	桐山 由香	0268-28-1192
	松本赤十字乳児院	松本市元町3丁目 8-10	鎌倉 美枝	0263-31-5206 里親支援専用電話 平日 9:00~17:00
	風越乳児院	飯田市丸山町 4-7490-3	吉田 千佐紀	0265-22-4127

☆「里親だより」は長野県公式ホームページでも御覧になれます。
(長野県→中央児童相談所→児童相談所広域支援センターのページ内)

☆発行：長野県里親だより編集委員会
〒380-0872 長野市南長野妻科 144 児童相談所広域支援センター内
TEL:026-238-8010 FAX:026-238-8025
メール：satoya-shien@pref.nagano.lg.jp)

